

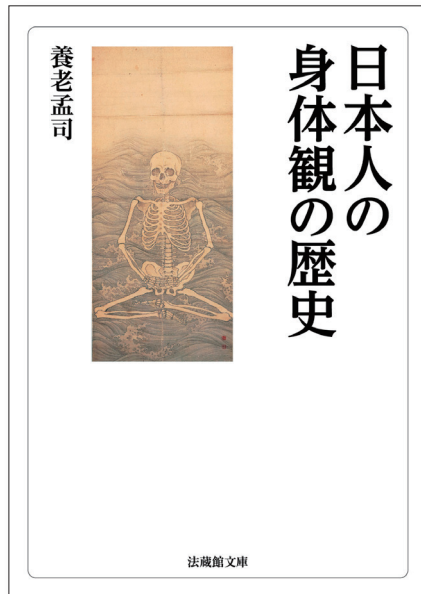
# 日本人の身体観の歴史

ようろうたけし  
養老孟司 [著]

《法蔵館文庫》

文庫判・並製カバー・三八四頁・本体一、三〇〇円＋税

2022年11月刊行



「身体論は結局は人間論に行き着く」。日本の中世、近世、そして現代哲学の心身論から、さらには西欧の身体観まで論じる。固定観念を揺さぶり、常識をくつがえし、人と世界の見方を一変させる、養老「ヒト学」の集大成。

法蔵館文庫へのまごがき

IV 中世の身体観

I 自然・人間・社会

仏教における身体思想  
中世の身心

死体とはなにか

「自然」の見方

補論 西欧の身体観

人間と身体および社会

西欧の心身論

II 現代哲学の身体観

三つの身体  
トランジと心臓信仰  
肉と石

現代哲学の心身論

廣松渉氏の心身論

さまざまな心身一元論

終章 身体の行方

III 近世の身体観

あとがき

江戸という時代

裸の王様

萩生徂徠の自然と人為

二宮尊徳の天理と人道

1937年、神奈川県鎌倉市生まれ。解剖学者。東京大学名誉教授。東京大学医学部卒業、東京大学大学院基礎医学で解剖学を専攻し博士課程修了。医学博士号取得。東京大学助手・助教授を経て解剖学第二講座教授。この間、東京大学総合研究資料館館長（1989～93年）、東京大学出版会理事長（1991～95年）を歴任。退官後、北里大学教授を務める。主な著書に、サントリー学術賞を受賞した『からだの見方』（筑摩書房、1988年、ちくま文庫、1991年）、毎日出版文化賞特別賞を受賞した『バカの壁』（新潮新書、2003年）をはじめ、『唯脳論』（筑摩書房、1990年、ちくま学芸文庫、1998年）、『カミとヒトの解剖学』（法蔵館、1992年、ちくま学芸文庫、2002年）、『身体の文学史』（新潮社、1997年、新潮文庫、2001年、新潮選書、2010年）、『神は詳細に宿る』（青土社、2019年）など。その他、共著・翻訳書など多数。

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

思想・哲学

注文書

(書店名)

ご担当

様冊

法蔵館

一、三〇〇円＋税

養老孟司 著

日本人の身体観の歴史

ISBN978-4-8318-2642-8 C0110

ご住所

お電話

お名前